



認知症見立て塾

長南町認知症サポート医 ポプラクリニック 千葉大学医学部附属病院患者支援部 特任准教授 上野 秀樹

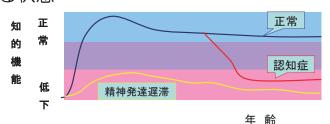
みんなの認知症情報学会 https://cihcd.jp

©みんなの認知症情報学会

1

認知症とは

一旦正常に発達した知的能力が低下してしまい、物忘れや自分の周囲の状況がわからない、理解・判断力の低下などがあるために、日常生活・社会生活に支障を来している状態



2

認知症とは

■ 認知機能障害 ←ご本人の要因 もの忘れ、自分の周囲の状況がわからない、 理解力の低下、判断力の低下



- 日常生活、社会生活上の支障がある→生活障害の存在 ←環境との相互関係
- ■支援のポイント
 - →改善可能な部分に働きかけること

認知症とは

脳の機能が低下



認知機能障害

(記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下)



生活障害 (ADLの低下)

©みんなの認知症情報学会

4

①脳の機能低下から 認知機能障害を生じる原因

• 変性疾患 : アルツハイマー病、レビー小体病、前頭側頭葉変

性症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺、

など

• 脳血管障害 : 脳血管障害

感染症 : 脳炎、進行麻痺、エイズ脳症、プリオン病、など

腫瘍 : 脳腫瘍

• その他 : 神経ベーチェット、多発性硬化症など

中枢神経疾患

外傷 : 慢性硬膜下血腫髄液循環障害 : 正常圧水頭症

内分泌障害 : 甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症、など中毒、栄養障害 : アルコール中毒、ビタミンB₁₂、B₁₂欠乏など

©みんなの認知症情報学会

5

認知症の状態

治療可能な認知症

減少していない

治療可能な認知症 以外の原因による認知症

神経細胞の脱落・減少



脳の機能低下



認知機能障害



生活障害

©みんなの認知症情報学会

治療可能な認知症の原因

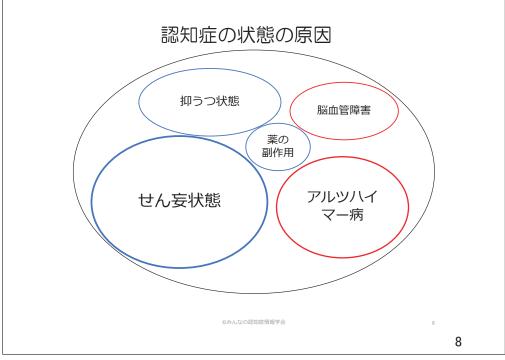
意識障害(せん妄状態)、抑うつ状態、精神的ストレス、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症}、ビタミン B1、B12 欠乏症など

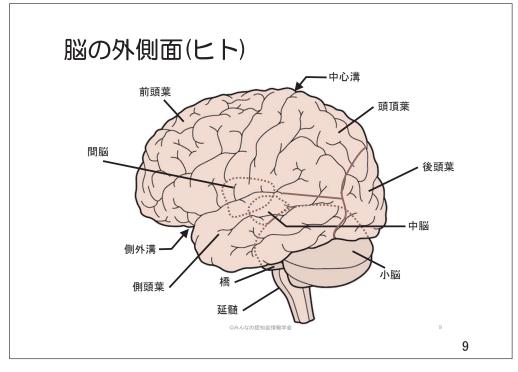
認知症原因疾患

アルツハイマー型認知症、血管性認知 症、レビー小体型認知症、前頭側頭型 認知症など

認知症の状態

©みんなの認知症情報学会





認知機能



覚醒状態 • 全身状態

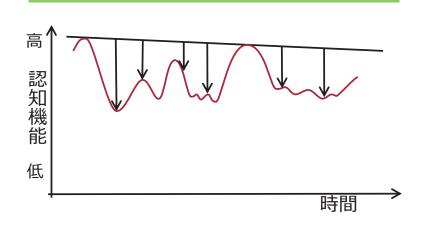
10

脳がきちんと機能するために

- ■覚醒状態が保たれること
- ■神経細胞はエネルギーとして糖分を利用
 - →適切な血糖値が保たれること
- ■脳血流が保たれる必要
 - →適切な血圧が保たれること
- ■細胞内の酵素は35-36度の体温で最適に働く
 - →適切な体温が維持されること
- ■神経細胞が働くためには酸素が必要
 - →適切な血中酸素濃度が保たれること
- ■薬の副作用が出ていないこと

11

アルツハイマー型認知症の人が...



©みんなの認知症情報学会

治療可能な認知症の原因

原 因 気づきのポイント

せん妄状態(意識障害)

状態の時間的変動もしくは夕方から夜間

に悪化するか

さまざまな身体的不調

血圧、脈拍数、血糖値、脱水状態など

うつ病、精神的ストレスうつっ病の症状があるか。二質問票法

正常圧水頭症

三主徴 (認知機能障害、歩行障害、尿失禁)

慢性硬膜下血腫

麻痺、ふらつき、意識障害など

甲状腺機能低下症

むくみ、食欲がないのに体重が増える、

皮膚の乾燥、寒がりになる、無気力など

ビタミンB1、B12欠乏

食事をきちんとしていない